



長崎

原子力災害医療派遣チーム として必要な知識・技能を身につけよう

2022年度
第3回

1/15日 開催

定員20名 / 9:00-17:20

旅費支給
受講無料

会場 長崎大学被ばく 医療総合研修センター

【募集開始】11/21 月

【募集締切】12/15 木

お問い合わせ

長崎大学原子力災害対策戦略本部

Tel. 095-819-8536

<https://www.gensai.nagasaki-u.ac.jp/>

お申し込み



読み込んでアクセス！
ログイン後申し込み！

対象者

原子力災害医療中核人材研修もしくは令和3年4月以降の原子力災害医療派遣チーム研修を修了し、有効期限内の修了証を有する者

内容

- 講義
1. 原子力災害医療派遣チーム
 2. 原子力災害医療派遣チームの活動
 3. 原子力災害医療派遣チームのリスクコミュニケーション

- 演習
1. 机上演習
- 実習
1. 被ばく傷病者対応

原子力災害医療派遣チーム研修

<https://retns.nirs.qst.go.jp/retnsWeb/top>

なぜ今、原子力災害医療派遣チーム研修？

理由1

研修の受講により原子力災害対応時の不安を軽減。

平時から、原子力災害医療派遣チームの派遣調整体制や、放射線防護等の知識・技能を身につけることにより、原子力災害時の不安を軽減します。講師は、実際に福島第一原発事故へ対応した医療従事者が中心となり、当時の経験をみなさんへ繋いでいきます。

理由2

九州は10機関が原子力災害医療派遣チームを保有。

1チームは医師、看護師、放射線防護関係者等の4名以上で構成され、移動も含め5日間活動します。DMATのようにチーム数が多いと、長期的な原子力災害対応における2次隊、3次隊の派遣を想定すると、原子力災害医療派遣チームの維持と拡充が必要となります。

派遣チームを保有する10機関

● 原子力災害拠点病院	① 九州大学病院 ② 唐津赤十字病院 ③ 佐賀大学医学部附属病院 ④ 佐賀県医療センター好生館 ⑤ 長崎医療センター ⑥ 済生会川内病院 ⑦ 鹿児島大学病院
● 原子力災害医療協力機関（派遣チーム保有）	① 佐世保市総合医療センター ② 日本赤十字社長崎原爆病院
○ 高度被ばく医療支援センター／原子力災害医療・総合支援センター	① 長崎大学

※原子力災害拠点病院は、指定要件により派遣チームを保有することとなっています。

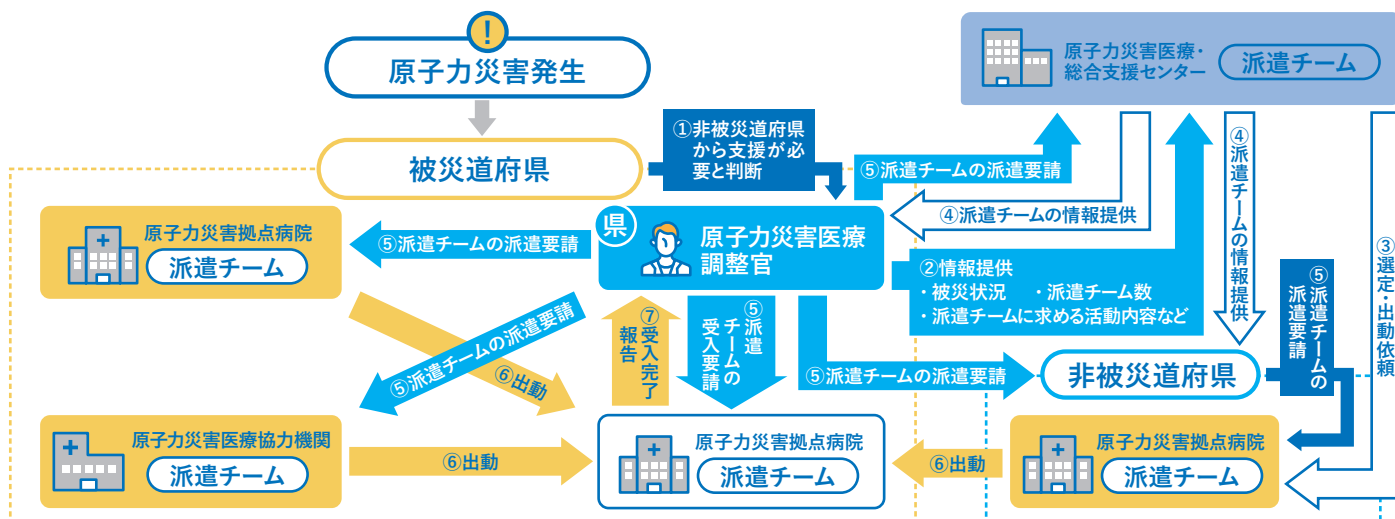
玄海原発
(佐賀県、UPZ内:長崎、福岡県)



川内原発
(鹿児島県)

派遣チーム※の派遣要請と出動

(※ 派遣チーム＝原子力災害医療派遣チームの略)



ステップアップ方式の新研修体系

令和3年度から開始された新しい被ばく医療研修体系は、「基礎」「専門」「高度専門」に分かれます。受講生は、「原子力災害医療基礎研修」から矢印に沿って受講を進めます。受講後は、修了証書が発行され、有効期限は「発行日の3年後の年度末」となります。

